

□ 次の英文を読んで、各問いに答えなさい。

Good evening, ladies and gentlemen. Thank you all ( a ) coming here and listening to my story. \*Let me begin by telling you how I came to be here: I came in a time machine. In the year 2500, we are able to travel through time to any year in the history of the earth.

I have returned to this year (1)to tell you something important: This year is your last chance (2)to change your lifestyle to save the earth!

I will explain. Beginning\*in the middle of the 20th century, [ A ]. They talked about the dangers of pollution, but most people did not listen and did not change their way of life. \*Instead, they continued to dump dangerous \*chemicals and other waste into lakes and oceans, to drive more and more cars and trucks and to cut down trees.

By the year 2200, [ B ]. People could \*no longer drink water, and they had to use other types of \*liquids. This \*forced a change, but it was not enough. Scientists \*warned about \*over-population and said that ( b ) the future there might be too many people on the earth. But not enough was done.

So, by the year 2300, there were so many people that food became \*scarce. [ C ] and all of the fish in the lakes and oceans died because ( c ) pollution. Terrible wars \*broke out between \*the wealthy and \*the poor. People started to think about finding another place to live. Scientists were working very hard to find another planet in space where humans could live.

By the year 2400, (3)the air was ( ) polluted for humans ( ) \*breathe. So we had to leave earth. But only the very wealthy were able to leave. Where did we go? Nowhere. And everywhere. You see, [ D ], so now we must travel around \*the universe in our space ships. We are still looking for a place to call our home.

So, (4)it is \*up to you to change history. There is still hope. You must change your lifestyle now, before it is too late.

(注) Let me begin まず始めに in the middle of... ...の中ごろ

Instead その代わりに chemical 化学物質 no longer もはや...しない

liquid 液体 force 強いて...させる warn 警告する

over-population 人口過剰 scarce 不足した break out 勃発する

the wealthy 裕福な人々 the poor 貧しい人々 breathe 呼吸する

the universe 宇宙 up to... ...次第

問1 ( a ) ~ ( c ) に入る適切な語を次のア ~ オの中から選び、記号で答えなさい。

ただし、同じ語を2回以上使用することはできない。

ア in イ at ウ for エ of オ on

<解説>

3問とも慣用表現なので、きちんと覚えておきましょう。

( a ) には Thank you all **for** ~ で「~して頂いてありがとうございます」の意味となり、**ウ**が入ります。

( b ) には **in the future** で「将来**は**」の意味となり、**ア**が入ります。

( c ) には because **of pollution** で「汚染の**せいで**」の意味となり、**エ**が入ります。

問2 下線部(1)、(2)と同じ用法を含む文を次のア～エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

ア It is difficult to play the piano.

イ Casey came to the station to see me.

ウ I want to play tennis with Tom.

エ John has a lot of things to do every day.

<解説>

下線部(1)は、「言うために」という‘目的’を表す副詞的用法の to 不定詞です。

下線部(2)は、「変える」という to change の部分が直前の名詞である **chance** を修飾していることから、下線部(2)は**形容詞的用法**であることがわかります。

選択肢は以下のようになっています。

ア.「ピアノをひくことは難しい」は、名詞的用法です。

イ.「ケイシーは私と会うために駅に来た」は、**目的を表す副詞的用法**になります。

ウ.「私はトムとテニスがしたい」は、to play は動詞 want の目的語であり、名詞的用法です。

エ.「ジョンは毎日する事(=すべきこと)がたくさんある」は、**名詞 things を to do が修飾している形容詞的用法**です。

したがって、下線部(1)と同じ用法は**イ**、下線部(2)と同じ用法は**エ**となります。

問3 下線部(3)を次の日本語と同じ内容になるように、( )と( )に適切な語を入れなさい。

「空気は人間が吸うには汚れすぎていた」

<解説>

「空気は人間が吸うには汚れすぎていた」の意味になるためには、空所( )に **too** を、( )には **to** を入れると良いでしょう。

**too ~ to...**で「...するには~すぎる、あまりにも~なので...できない」の意味となります。よく使う構文なのでしっかり覚えておきましょう。

問4  A ~  D に入る最も適切な英文を次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示してある。

ア the earth's water was completely polluted

イ scientists did not find another safe planet

ウ there was no water to grow food

エ a few people were worried about polluting the earth's water and air

<解説>

適文選択の場合は、入る箇所の前後の文をしっかりと読むことが大切です。前後と矛盾することのない選択肢を選びましょう。

A に**エ**を入れると、地球の水と空気の汚染を心配していたのは **a few people** 「少数の人たち」だったという部分が、後の **but most people did not listen and did not change their way of life**. とうまくつながります。

B には**ア**が入ります。

アは「地球の水は**完全に汚染された**」という意味であり、すぐ後の「人々は**もはや水を飲むことができなくなった**」の理由になっています。

C の前に、**多くの人々が食糧不足になった**ことが書かれているので、「**食物を育てるための水がなくなった**」の意味である**ウ**が適切な答えとなります。

D には**イ**が入ります。別の**安全な惑星が見つけれなかった**とあるので、その後の

「我々はまだ故郷とよべる場所を探し続けている」につながってきます。

問5 下線部(4)の it が指す語句を文中から抜き出さない。

< 解説 >

この **up to** は注にもあるように、「...次第」という意味です。よって、この一文を訳すと、「歴史を変えるのはあなたがた**次第だ**」となります。この it は**形式主語**の it であり、不定詞の部分 **to change history** を指しています。

補足ですが、この文を書き直すと **To change history is up to you.** となり、不定詞の部分の主語の位置に置くことができます。この書き換えも意識しながら学習しましょう。

問6 本文の内容に合っているものを次のア～オの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア This story is told by a time traveler who has come from the 24th century.
- イ In the middle of the 20th century, people continued to pollute seas with waste.
- ウ By the year 2200, people started to clean up polluted water.
- エ By the end of 23rd century, many people always had to worry about having enough food to eat.
- オ By the year 2400, all people were able to leave earth.

< 解説 >

ア「この話は **24世紀**からきたタイムトラベラーによって語られた」... ×  
**25世紀**の間違いです。

イ「**20世紀**の中ごろ、人々は海を汚染し続けていた」...

they **continued to dump** dangerous chemicals and other waste **into** lakes and **oceans**

「彼らは危険な化学物質やその他の廃棄物を湖や**海に捨て続けていた**」の部分から読みとれます。

ウ「**2200年**までに、人々は汚染された**水をきれいにし始めた**」... ×

「人々は**もはや水を飲むことができなくなった**」の部分と矛盾しています。

エ「23世紀の終わりまでに、多くの人々が常に十分な食べ物が得られるかを心配しなければならなくなった」...

5段落目に、there were so many people that food became scarce.とあり、「多くの人々が食糧不足になった」ことが書かれています。

オ「2400年までに、すべての人々が地球を離れられた」... ×

But only the very wealthy were able to leave.とあるように、「豊かな人々だけ」が地球を離れられたことがわかります。

よって、本文の内容に一致しているものはイとエの2つになります。